

厚生労働省医薬品等審査迅速化事業費補助金  
(革新的医薬品・医療機器・再生医療等製品実用化促進事業)

## シンポジウム がん免疫療法開発の次なるステップ —企業・アカデミアの連携、そして規制との調和—

日時：平成 28 年 2 月 25 日 (木) 10:00~17:00  
会場：一橋大学一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内)

### プログラム (案)

#### 10:00~12:00 第Ⅰ部 がん免疫療法開発のためのガイダンス案の報告

1. 「がん免疫療法開発のガイダンス 2015  
後期臨床試験の考え方  
～エンドポイントと試験デザイン～」  
影山 慎一 三重大学大学院医学系研究科  
遺伝子・免疫細胞治療学
2. 「がんワクチン・アジュバント 非臨床試験ガイダンス」  
原田 直純 三重大学大学院医学系研究科  
遺伝子・免疫細胞治療学
3. 「がん免疫療法開発のガイダンス  
～がん免疫療法に用いる細胞製剤の  
品質、安全性、非臨床有効性試験の考え方～」  
池田 裕明 三重大学大学院医学系研究科  
遺伝子・免疫細胞治療学

12:00~13:00 休憩

#### 13:00~14:30 第Ⅱ部 複合的がん免疫療法の開発

1. なぜ複合的がん免疫療法なのか  
河上 裕 慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所  
細胞情報研究部門
2. 企業とアカデミアの連携は何をもたらすのか  
上田 龍三 愛知医科大学 腫瘍免疫寄附講座
3. 複合的がん免疫療法の開発  
—PMDA の立場から—  
柴辻 正喜 医薬品医療機器総合機構 新薬審査第五部

14:30~14:45 休憩

#### 14:45~16:45 第Ⅲ部 我が国における企業とアカデミアの連携に向けて

1. アカデミアの視点から  
—国立がん研究センターでの取り組み—  
堀田 知光 国立がん研究センター

2. 開発企業の立場から ―連携に対する期待と課題―

稲垣 治 日本製薬工業協会

3. 米国における企業とアカデミアの連携から学ぶ  
―CTEP の果たす役割―

武部 直子 Investigational Drug Branch,  
Cancer Therapy Evaluation Program,  
Division of Cancer Treatment and Diagnosis,  
National Cancer Institute,  
National Institute of Health

4. 我が国における創薬開発促進にむけて  
―AMED の取り組み―

末松 誠 日本医療研究開発機構

17:00 閉会

主催：がん免疫療法ガイドランス検討委員会

プログラム実行委員会（荒戸 照世、河上 裕、佐藤 大作、影山 慎一、珠玖 洋）

※参加料は無料です。

※なお、参加をご希望の方は、必ず下記事務局に予めご登録のメールをお願いいたします。

※会場の都合により、先着 400 名様に限らせて頂きます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

連絡先メールアドレス：sympo-jimu@clin.medic.mie-u.ac.jp

ご登録のメールには、下記をご記入ください。

お名前・ご所属・ご連絡先メールアドレス

なお、お寄せ頂いたお名前、ご所属、メールアドレス等の個人情報は、このシンポジウムに関してのご連絡のみに用いさせて頂き、他の目的に使用することはありません。

## 一橋大学一橋講堂への経路

【一橋大学一橋講堂】

〒101-8439

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線  
神保町駅(A8・A9 出口) 徒歩 4 分

※A8 出口は、近隣ビルの工事のため H25/10/5 から  
閉鎖しております。

お越しの際には A9 出口をご利用ください。

東京メトロ東西線 竹橋駅 (1B 出口) 徒歩 4 分

